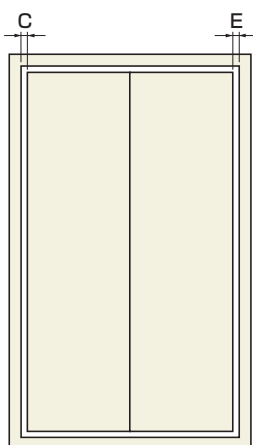


Q5

4組(8枚)の折戸を、両サイドの2組は吊元固定タイプに、中間の2組はフリーオープンタイプにしたいと思っています。このときの隙間寸法の設定方法を教えてください。金具はAFDシステムAFD-2700を考えています。



●左右のすきま (折戸1組の場合)

C+E (フリーオープンタイプで吊元仮固定キャッチを使用しない場合)

使用丁番:HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	4.8	4.3	3.9	3.6
33	5.5	4.9	4.4	4.0
35	6.0	5.3	4.8	4.4
40	7.4	6.5	5.8	5.3

※丁番結合部のすきまは0mmで大丈夫です。

C+E (吊元固定タイプの場合)

使用丁番:HD-37

戸厚/戸幅	300	350	400	450
30	7.5	7.1	6.8	6.6
33	7.9	7.5	7.1	6.9
35	8.2	7.7	7.4	7.1
40	10.1	9.5	9.1	8.8

※以上のすきまは「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

※丁番結合部のすきまは0mmの設定で大丈夫です。

吊元固定タイプの場合の吊元側すきま寸法

戸厚	C(またはE)
30	5.0
33	5.0
35	5.0
40	6.1

A5

ご質問のような組み合わせは、折戸を3組以上使用する場合に、多く見られます。

①両サイド2組の吊元固定タイプに必要な隙間を調べます。

カタログの「戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法」の表「吊元固定タイプの場合の吊元側すきま寸法」から、戸厚に応じた寸法を選びます。吊元が2ヶ所ありますから、選んだ「吊元側すきま寸法」を2倍したものが、吊元の隙間寸法となります。

【例】戸厚33mmの場合

吊元側すきま寸法=5.0mm、吊元が2ヶ所ありますから
5.0mm×2=10.0mmとなります。

②中間2組のフリーオープンタイプに必要な隙間を調べます。

カタログの「戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法」の表「C+E(フリーオープンタイプの場合)」から、戸厚と戸幅に応じた寸法を選びます。この寸法がフリーオープンタイプに必要な隙間寸法となります。

フリーオープンタイプの場合、フリーオープンタイプ折戸が何組になっても、一組分の隙間寸法を確保すれば開閉できます。

【例】戸厚33mm・戸幅400mmの場合

C+E(フリーオープンタイプの場合)=4.4mm

③2組分の吊元固定タイプに必要な隙間とフリーオープンタイプに必要な隙間を合算します。これで必要な隙間寸法が求められました。

【例】10.0mm+4.4mm=14.4mm

ご注意

「戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法」には、枠や折戸の仕上り寸法精度・現場の水平精度などは考慮されていませんので、この分を設計される際に見込んでいただく必要があります。

ドア錠 1

丁番 2

スライド丁番 3

開き戸金具 4

引戸錠 5

引戸金具 6

上吊式引戸金具 7

移動間仕切金具 8

折戸金具 9

室内用アルミ選具 10

取手・引手 11

スライドレールワイヤーバスケット 12

収納・吊金具 13

その他の家具金物 14

物干金具・諸金具 15

真鍮アンティーク 16

設計施工ガイド

会社案内